

ウェブアクセシビリティに関する要件

1. 適合レベル及び対応度

- JIS X 8341-3:2016 のレベル AA に準拠すること。
- 本仕様書における「準拠」という表記は、情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会「ウェブコンテンツの JIS X 8341-3:2016 対応度表記ガイドライン 2016年3月版」で定められた表記による。

2. 対象範囲

- 今回作成する公開ページ及び管理ページ全て。
- ただし、ページ内に使用する PDF、エクセル、ワードなどの添付ファイルは除外する。

3. 依存するウェブコンテンツ技術

- HTML5, CSS3 及び JavaScript 1.8.5

4. 確認の実施

- HTML、CSS の雛形作成段階において、受託者にて達成基準への対応状況の確認を実施すること。ツールによる判定が可能な検証項目については、「みんなのアクセシビリティ評価ツール：miChecker (エムアイチェッカー)Ver.2.0」等のツールを用いた上で、そのツール名を記録すること。

5. 試験の実施

- 納品前に JIS X 8341-3:2016 に基づく試験を実施する。受託者は試験結果について発注者に説明を行い、その了承を得ること。
- 試験の実施 においては、ツールによる判定だけでなく、人間による判断も行うこと。

6. 試験の対象範囲

- JIS X 8341-3:2016 の「JB.1.2 ウェブページ一式単位」とし、「d) ウェブページ一式を代表するウェブページとランダムに選択したウェブページとを併せて選択する場合」にある方法を用いて、両方を合わせて 40 ページを選択して試験を実施すること。
- なお、ページ数の内訳は以下の通りとする。
 - ウェブページ一式を代表するウェブページ：15 ページ
 - ランダムに選択したウェブページ：25 ページ

7. 達成方法及びその検証方法を特定できる技術的根拠（実装チェックリスト）の作成

- ウェブアクセシビリティ基盤委員会が公開している「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン 2016年4月版」の「3.1 達成方法及びその検証方法を特定できる技術的根拠を示す方法の例」を参考にして実装チェックリストを作成すること。

8. 達成基準チェックリストの作成

- ウェブアクセシビリティ基盤委員会が公開している「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン 2016年4月版」の「3.2 達成基準チェックリストの例」を参考にして作成すること。

9. 成果物

- 適用する達成基準の要件を満たすことを示す試験結果資料
- 実装チェックリスト
- 達成基準チェックリスト
- 試験結果ページ